



平成28年度 徳島大学病院 研修プログラム説明会 (初期研修・専門医研修)

平成27年6月27日(土) 徳島大学大塚講堂にて徳島大学病院研修プログラム説明会を行いました。第一部では、当院の2年次研修医の中から、県外の協力病院において3ヶ月～12ヶ月の研修を行った宇都宮聖也先生(日本赤十字社和歌山医療センター)・榎本紀哉先生(済生会熊本病院)・近藤みほ先生(愛媛県立中央病院)・富永真由先生(日本医科大学付属病院)・松本康平先生(高知赤十字病院)が、それぞれの研修内容や研修生活に関し、多くの写真を用いて分かりやすく説明してくれました。

また、第二部では、徳島大学病院・協力病院による合同説明会をブース形式で行いました。来場者数は、総勢289名であり、初期研修を希望する学生92名に加え、専門医研修を希望する研修医55名が来場しました。今年は、マッチングを間近に控えた6年生だけでなく、1年生～4年生も来場しており、初期研修に対する意識の高さが伺われました。来場された皆様とはその後の懇親会でも交流を深め、非常に有意義な会となりました。来場された学生や研修医の皆様が、来年徳島大学で満足のいく研修ができますよう、より良い研修プログラムの作成に尽力して参ります。



左上 第二部/合同説明会(卒業臨床研修センターブース)
左下 第二部/合同説明会(協力病院ブース)
右上・中 第一部/研修医による体験談
右下 懇親会(蔵本会館)



レジナビフェア大阪&東京

平成27年7月5日(日)大阪・7月19日(日)東京にてレジナビフェアが開催されました。徳島大学病院も徳島県ブースに研修医と共に参加しました。来場された学生さんは後に病院見学に来られることが多く、徳島大学病院の研修プログラムについて、直接お話しすることの重要性を感じました。



大学病院の新しい顔となる新外来診療棟が9月に完成いたしました。別棟だった内科と歯科が同居することで、より一層の連携強化が図れるようになりました。ブロック受付の導入は待ち時間の短縮や混雑の解消、利便性の向上に役立っているかと思えます。くつろぎの空間として設けたアメニティテラスは大変好評で、多くの患者さんや職員にご利用いただいています。日垂化学工業株式会社のご厚意で新設した5階の会議室は学外の方にも利用可能です。西外来診療棟の改修が残っていますが、足掛け20年にわたる病院再開発計画はこれで一旦完了ということになります。



(2015年 冬) 徳島大学病院長 安井夏生

研修医教育講座&当直スキルアップセミナー

研修医への教育の一環として、各科の先生方に御協力頂いて行っております。研修医教育講座と当直スキルアップセミナーですが、今年も手技の修得を目的として年10回の研修医教育講座と臨床に役立つ知識の修得を目的とした年10回の当直スキルアップセミナーを予定しています。学生・当院医師・コメディカル・他院からの先生方を含め、毎回50～90名の参加者があり、熱気のある勉強会となっております。御協力頂いております各診療科の先生方に御礼申し上げますと共に、来年以降も御協力の程宜しくお願い申し上げます。

研修医教育講座

第1回(平成27年5月13日(水))

総合実習

(外科系診療科)

第2回(平成27年5月27日(水))

気管内挿管実習

(麻酔科)

第3回(平成27年6月10日(水))

CV講習会

(医療教育開発センター等)

第4回(平成27年6月24日(水))

腹部エコー実習

(消化器内科)

第5回(平成27年7月9日(木))

心エコー実習

(循環器内科・超音波センター)

第6回(平成27年9月30日(水))

胸腔穿刺実習

(呼吸器内科・呼吸器外科等)

第7回(平成27年10月21日(水))

上部消化管内視鏡実習

(消化器内科)

第8回(平成27年11月12日(木))

包帯・ギプス・シーネ実習

(整形外科)

※「胸腔穿刺実習」と「包帯・ギプス・シーネ実習」は、今年度より新たに開始。

当直スキルアップセミナー

第1回(平成27年4月20日(月))

①「循環器領域における胸痛の診方-心電図を中心に」

循環器内科 山崎宙先生

②「救急外来で出会う消化器疾患」

消化器内科 武原正典先生

③「気胸への対応」

呼吸器・膠原病内科 佐藤正大先生

第2回(平成27年5月18日(月))

①「脳卒中のみかた」

脳卒中センター 桑山一行先生

②「急性期病棟だからこそリハビリテーション」

リハビリテーション部 佐藤紀先生

③「当直で活かす心臓エコー検査」

超音波センター 坂東美佳先生

第3回(平成27年6月25日(木))

①「全診療科における感染症診療～診断・治療ロジック～」

感染制御部 東桃代先生

②「見逃すと”しっぺ返しをくらう”ウイルス性疾患！」

血液内科 中村信元先生

③「耐性菌Topics & 高齢者肺炎のマネジメント」

口腔微生物学分野 村上圭史先生

第4回(平成27年7月22日(水))

①「腎不全患者について、当直医が知っておくべきこと」

腎臓内科 松浦元一先生

②「泌尿器科救急」

泌尿器科 橋原義人先生

③「内分泌代謝救急」

内分泌・代謝内科 近藤剛史先生

第5回(平成27年9月14日(月))

①「見逃し危険! 神経内科救急」

神経内科 山本伸昭先生

②「当直で役立つ小児のみかた」

小児科 苛原誠先生

③「妊婦・授乳婦にくすりを使うときの注意点」

産科婦人科 加地剛先生

第6回(平成27年10月8日(木))

①「めまいはこわい!？」

耳鼻咽喉科 佐藤豪先生

②「知っておこうぜ、眼科救急疾患」

眼科 宮本龍郎先生

③「当直中に診る精神症状について」

精神科 渡部真也先生

第7回(平成27年11月26日(木))

①「救急でみる皮膚疾患(じん麻疹、薬疹、感染症を中心に)」

皮膚科 廣瀬憲志先生

②「整形外科救急診療のいろは」

整形外科 和田佳三先生

③「救急外来でみる形成外科疾患」

形成外科 山下雄太郎先生



学生・研修医のためのキャリアデザインセミナー ～若手医師による夏期セミナー～

キャリア形成支援センターとの共催で、厚仁会の御支援の下、平成27年9月2日(水)に第二臨床講堂にて、学生・研修医のためのキャリアデザインセミナーを開催致しました。3名の先生方に、それぞれのキャリア形成に関し御講演を頂きました。学生・研修医等合わせて51名の来場があり、活気のある会となりました。また引き続きレストランSoraにて懇親会が行われましたが、更に多くの学生や研修医が参加し、講師の先生方との会話を楽しんでいました。今後の医師としてのキャリアを形成する上で参考になればと思います。

キャリアデザインセミナーの講師

整形外科 宮城 亮先生

「整形外科医へのみちのり」

「私が整形外科をこころざした理由」

救急集中治療部 中瀧 恵実子先生

「私にとって「働く」とは」

食道・乳腺甲状腺外科 西野 豪志先生

「外科医のすすめ」

研修医紹介

現在、徳島大学病院で研修中の研修医

1年次研修医

- 有澤 麻美
- 梶田 敬介
- 加藤 悠人
- 小山 広士
- 佐藤 裕一
- 四宮 由貴
- 曾我部 洋平
- 高橋 拓
- 谷 彰浩
- 千田 大樹
- 中川 舞
- 中島 大生
- 中西 明奈
- 西殿 圭祐
- 布村 俊幸
- 原 倫世
- 細井 美希
- 村上 貴寛
- 山上 圭
- 山上 紘規
- 山田 亮
- 行重 佐和香

2年次研修医

- 宇都宮 聖也
- 近藤 みほこ
- 湊 将典
- 林 亜紀
- 森脇 由香
- ★12月に戻ってくる
2年次研修医
- 野田 和克
- 松永 直樹
- 山下 雄也

前回のニュースレター発行後に戻ってきた2年次研修医です。



安宅 祐一郎
(あたぎ ゆういちろう)
7月から帰ってきました。至らない点が多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。



稲垣 太造
(いながき たいぞう)
これからも微力ながら患者様方の健康保持の一助になれるよう、邁進していきたいと思います。



常城 あゆみ
(つねぎ あゆみ)
初期研修も残りわずかとなりましたが、自身を持って研修を終えることができるよう日々精進したいと思います。



岩坂 麻衣子
(いわさか まいこ)
初心を忘れず頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



亀田 香奈子
(かめた かなこ)
11月から大学で外科分野の研修をさせていただきます。よろしくお願いいたします。



栗原 健士
(くりはら たけし)
研修2年目も残りわずかとなりましたが、変わらずやっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



武井 美貴子
(たけい みきこ)
研修期間も残り少なくなりましたが、多くのことを学べるよう頑張っていきたいです。よろしくお願いいたします。



板東 智子
(ばんどう ともこ)
気持ち新たに頑張ります。至らぬ点も多々あると存じますが御指導よろしくお願いいたします。



藤本 啓介
(ふじもと けいすけ)
9月から大学に戻ってきました。初心を忘れず日々精進していきます。ご指導よろしくお願いいたします。



松本 康平
(まつもと こうへい)
残りの研修期間を有意義に過ごしたいと思います。よろしくお願いいたします。

第251回 徳島医学会学術集会

平成27年8月2日(日)に徳島大学大塚講堂にて第251回 徳島医学会学術集会が開催されました。各診療科の指導医の先生方の熱心な御指導のもと、2年次研修医4名、1年次研修医7名の合計11名の研修医が発表を行い、1年次研修医 梶田敬介先生が若手奨励賞を獲得致しました。御指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。

若手奨励賞
梶田 敬介 先生
(1年次 研修診療科 呼吸器・膠原病内科)
「PS不良ALK融合遺伝子陽性の若年肺腺癌に対し、クリゾチニブが奏効した一例」



徳島大学病院 研修医奮闘記

“徳島県の産婦人科医療の将来を支えるために”

徳島大学病院産婦人科研修プログラム
2年次研修医 林 亜紀

早いもので、気づけば2年間の初期研修も残り約半年となっていました。他大学出身ということもあり、知り合いも少なく、どんな2年間になるのか不安に思いながら4月を迎えたことを思い出します。しかし、いざ研修医生活が始まってみると本当に素敵な同期に恵まれ、1週間も経たないうちに数年来の友人かのように気心の知れた関係になっていました。

私は産婦人科コースということもあり、産婦人科から研修をスタートしました。研修医になりたてで本当に何も出来ない私に当時の指導医の先生が手取り足取り優しく指導してくださり、「私もこんな風な産婦人科医になりたい!」と思いました。また、救急では徳島県立中央病院で研修させて頂きました。初めての当直、慣れない環境、絶え間なく運ばれてくる患者さんを目の前にして最初の1か月はただただ圧倒され、立ち尽くしていた気がします。大学病院とはまた違った環境で救急という現場で働けたこの期間は、私にとってとても刺激的で本当に充実した4か月でした。



現在、私は大学病院に戻り、産婦人科で研修しています。どんな時も優しく指導し、私の出来ていない所をそっとフォローしてくれる指導医、時に厳しく指導してくれる上級医、子育てをしながらバリバリ仕事されている先生…病棟医長の先生をはじめ、私は現在こんな素敵な先生方に囲まれて働いています。帝王切開術も第3助手から前立ち、執刀と徐々にステップアップさせてもらっています。主治医、分娩助産、救急搬送の対応、婦人科手術の助手…忙しいながらも本当に充実した毎日を送っています。

このような研修が出来るようご尽力して頂いた卒後臨床研修センタースタッフの先生方をはじめ、ご指導いただいた全ての先生方に感謝しています。残り少ない研修医生活も一生懸命頑張ります!!

TOPICS

研修協力病院である 日本医科大学付属病院から初めての研修医受け入れ



徳島大学病院では、例年研修協力病院として、徳島県立中央病院・徳島市民病院・鳴門病院からの研修医受け入れを行っておりますが、今年度は8月～10月の間、初めて日本医科大学付属病院から2年次2名・1年次1名の計3名の研修医を受け入れました。この3か月間は、研修医同士が互いに刺激を与え合い、両者にとって非常に素晴らしい経験となりました。このような交流は、研修医の成長にとって非常に有意義であり、来年度以降も続くことを願います。

- 2年次 秋元 耕先生 循環器内科で研修(8月)※写真左
- 2年次 大野 崇先生 消化器・移植外科で研修(9・10月)※写真右の左から2番目
- 1年次 宮下 智先生 産婦人科で研修(9月)※写真右の左端

英会話レッスン

毎月2回ネイティブスピーカーの講師を招き医学英会話のレッスンをしております。御興味のある方は卒後臨床研修センターに御連絡下さい。



医員募集

平成28年度の医員募集情報

徳島大学病院では、下記の要領で、平成28年度の医員(3年目以降の専門医研修者を含む)を募集します。

平成28年度の医員募集の概要

条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、平成28年3月までに卒後臨床研修を修了(予定)している者。
募集人数	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れれます)。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、総務部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。 総務部人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474
募集の締め切り	平成28年1月中旬
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係担当)までお問い合わせください。 病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係担当) Tel.088-633-9976 Fax.088-633-9543 E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp http://www.careercenter-dr.jp/index.html

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページの更新を行っております。新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しておりますので、当院での研修に御興味のある方は、卒後臨床研修センターホームページ
(http://www.tokudai-sotsugo.jp)にアクセスして下さい。

■ニュースレターに関する御意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359
Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp

徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは

【初期研修】卒後臨床研修センター

E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

【専門医研修】キャリア形成支援センター

E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では、消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝臓に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。



連絡先 宮本 弘志 miyamoto.hiroshi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235
http://www.tokudai-shoukaki.jp/

血液内科

(科長 安倍 正博)

血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした疾患に対し、造血幹細胞移植術などの新しい診断技術や治療法を取り入れ幅広く診療を展開しております。このような治療の遂行においては、多職種医療従事者とのチームによる全人的かつ専門的診療が重要です。当科では一般内科を基盤としたきめ細かな患者の全身管理ができるバランスのとれた医師の育成を目指しています。



連絡先 安倍 正博 masabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html

食道・乳腺甲状腺外科

(科長 丹黒 章)

確かな技術を備えた外科医を育てることをモットーとして、「確かな技術」とは、手術のテクニックのみならず、正確な診断、適切な手術適応の決定や、周術期の全身管理、初期治療から緩和治療まで、あらゆる治療に精通することを意味しています。全ては患者さんのためであり、それらの技術習得に必要な環境が私たちの教室には揃っています。「目の前の患者さんを自分の技術で治したい」。そんな熱く、優しいハートを持った若いドクターよ、集まれ!



連絡先 滝沢 宏光 takizawa@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

「拡大切除・機能喪失から低侵襲・再生外科へ」をスローガンに肝胆膵外科領域では高難度手術、集学的治療、生体肝移植を行っており、肝胆膵外科高度技能修練施設Aに徳島で唯一認定(高度技能専門医を4名擁しており、日本でもトップクラス)されています。消化管外科では胃癌手術の5割、大腸癌手術の8割で鏡視下手術を行っており、内視鏡外科技術認定医が執刀・指導を行っています。また中国四国では初めて肥満に対して減量手術を腹腔鏡で行っており、現在まで6例施行しました。鏡視下アニマルラボを含む研修プログラムも用意しており、積極的に若手医師が執刀できる環境が整っております。



連絡先 吉川幸造 yoshikawa.kozo@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなどの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡などの県外医療機関と連携して、各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
伊勢 孝之 isetaka@tokushima-u.ac.jp
(卒後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894
http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/

腎臓内科

(科長 土井 俊夫)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入、透析室管理の3つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、術前術後を含めた透析管理を研修していただきます。当科での取得可能専門医:総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医。



連絡先 土井 俊夫 doitosho@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7184 fax.088-633-9245
http://www.tokudai-kidney.jp/

神経内科

(科長 梶 龍児)

かつては「わからない・なおらない」と揶揄された時代もあったらしいのですが、時代はダイナミックに変わっております。頭の先から指の先までの神経の症状、神経難病、脳卒中(SCU)から日常遭遇する一般的な症状(頭痛・物忘れ・手足のしびれ感)に至るまで「治る神経内科」を実践しております。専門医の高合格率にも定評があります。国内・海外への留学実績も豊富です。



連絡先 和泉 唯信 yizumi@tokushima-u.ac.jp
野寺 裕之 hnodera@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208
http://www.neuro-tokushima.com

呼吸器外科

(科長 先山 正二)

当科は、肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、ロート胸、膿胸、気胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。肺癌に対する胸腔鏡下手術、早期肺門部肺癌に対する光線力学療法や気道狭窄に対するステント、レーザー治療などを行っています。H24年7月よりda Vinciによるロボット手術を開始し、先端技術の導入にも積極的に取り組んでいます。外科におけるサブスペシャリティーとしての呼吸器外科専門医取得のための充実した修練プログラムを用意しています。外科・呼吸器外科に興味ある若人よ、来たれ!



連絡先 鳥羽 博明 surgery2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療:四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および、泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。
②小児外科領域での鏡視下手術:小児単径ヘルニアに対するLPPEC法の他、ヒルシュブルング病、鎖肛、GERDなどに対しても積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定(小児外科)を取得しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、肺炎、気管支喘息、リウマチ疾患を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めるのも当科の特徴です。生物学的製剤によるリウマチ診療、間質性肺炎・睡眠時無呼吸症候群の診療でも県内で中心的な役割を果たしています。国内外への留学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル国際レベルの医療人育成を目指しています。



連絡先 後東 久嗣 hgoto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134
http://www.sannai.umin.jp/

内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌腺が産生するホルモンは多彩な臓器の機能調節に関わり、その調節異常による代謝異常症には糖尿病、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症など頻度の高い生活習慣病が多く含まれます。したがって、内分泌・代謝疾患では、全身のホルモン標的臓器の統合的な診断・治療が必要です。当科では、内分泌・代謝疾患患者の診療を通じて、臨床医として必要とされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして適切な治療方針の立案能力を身につけた医師を育成しています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=4

心臓血管外科

(科長 北川 哲也)

心臓血管外科医は、「自分の知と腕」をもって、病む患者さんの生きよとす力を支えてあげることのできる、やりがいのある仕事です。暖かい心と勇気を持ち、夢と情熱のある方は、当科で専門医研修をしませんか。君たちの想いに応えます。現代の社会環境でこそチャンスです。
“Chance favors only the prepared mind !!” 次代を担うのはあなたです。



連絡先 北川 哲也 kitaichi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7581 fax.088-633-7408
http://www.toku-cvs.umin.jp/

泌尿器科

(科長 金山 博臣)

関連病院のほとんどが日本泌尿器科学会認定の基幹病院で、症例も多く充実した研修が受けられます。透析認定施設も多く、透析専門医の習得も可能です。早い段階から開腹手術や腹腔鏡手術の執刀を行い、泌尿器腹腔鏡技術認定医・腎移植認定医等の習得が可能です。また、大学病院および関連病院でロボット支援手術を積極的に実施しており、大学を含めて7施設で導入しています。希望により大学院進学、国内・海外留学が可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生の入局を待っています。



連絡先 金山 博臣 kanayama.hiroomi@tokushima-u.ac.jp
高橋 正幸 takahashi.masayuki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160
https://tokushima-u-urology.jp/

眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科学の重要性は増すばかりです。当科では網膜硝子体、緑内障、角膜炎、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩といった広範囲の専門分野を研修することができます。また、独自の小切開硝子体手術器具を考案し質の高い網膜硝子体手術を行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってゆきましょう。



連絡先 江川 麻理子 egawa.m@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848
http://www.tokushima-ganka.jp

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 武田 憲昭)

現代の耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療と研究を行い、明るく楽しく積極的に、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？



連絡先 北村 嘉章 ykitamura@tokushima-u.ac.jp
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170
http://www.toku-oto.umin.jp

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靭帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことができません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、一人前になるのに少々時間はかかりますが、誰でも努力すれば一流になりえるところが魅力です。徳島から世界にはばたく整形外科・骨大工になりませんか。



連絡先 西良 浩一 seikei2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178
http://www.utokushima-orthop.com/

皮膚科

(科長 久保 宣明)

皮膚科は現在、14人で毎日平均70人の外来患者、14人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。



連絡先 久保 宣明 kubo@tokushima-u.ac.jp
広瀬 憲志(総務医長) hirose.kenji@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

徳島大学病院形成外科は、新しい専門医制度において1年以上の研修が義務付けられた基幹病院として申請する予定で、四国各県にある連携病院と協力して幅広い研修を受けることが可能です。1年目には主に大学病院で形成外科の基礎知識と基本技術を習得し、2年目以降に連携病院を含めた複数の施設で研修を行います。また、大学院生になれば基礎系講座と協力して研究活動を行うことや、さらに海外および国内留学も奨励しています。

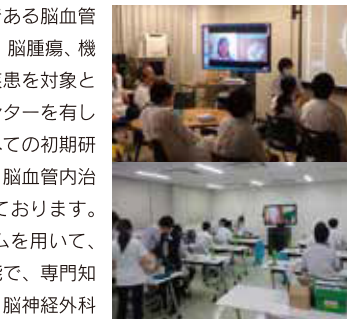


連絡先 安倍 吉郎 y.abe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=18

脳神経外科

(科長 永廣 信治)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診察、脳血管外科手術、脳血管内治療について学べるシステムを提供しております。また、ウェブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に付けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップいたします。

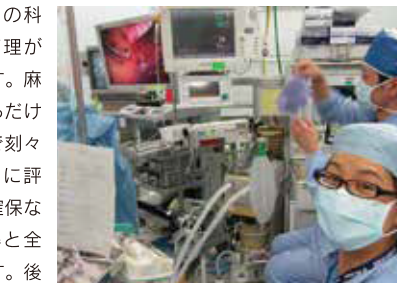


連絡先 溝渕 佳史 y.mizobuchi1203@gmail.com
tel.088-633-7149(内線 3246) fax.088-632-9464
http://www.tokushima-nougeka.com/

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。



連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182
http://www.med.tokushima-u.ac.jp/article/0015541.html

精神科神経科/心身症科

(科長 大森 哲郎)

今、精神科医が求められています。精神科の敷居が低くなり受診者が増え続ける現状に加え、教育や行政からのニーズも激増しております。精神科は非常に守備範囲の広い診療科です。自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。指導体制の充実には自信があります。精神科医になるなら徳大精神科での研修を！



連絡先 中瀬 理仁 nktk@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7130 fax.088-633-7131
http://tokushima-psychiatry.jp/

小児科

(科長 香美 祥二)

「子どもの健康を守ることでできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャルティ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしています。



連絡先 漆原 真樹 urushihara@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

産科婦人科

(科長 苛原 稔)

現在医局員は、苛原稔教授をはじめとして23名。診療面では生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4診療部門があり、どの部門も全国でトップレベルの成績です。分娩数は年間645件、手術件数は619件(平成26年度)。研究面では5つの研究班に分かれて、基礎的および臨床的研究を行っています。教育面ではカリキュラムを組み、学生、初期研修医の指導を行っています。産科婦人科に興味のある人は是非連絡下さい。



連絡先 苛原 稔 irahara@tokushima-u.ac.jp
加藤 剛志 kato@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視)、IVR(血管内治療、CTガイド下生検など)を行っています。現代の医療において画像診断は必要不可欠です。全国トップクラスの検査装置、画像診断システムに恵まれた環境のもと、最先端の医療に携わってみませんか。研究においても各々の分野で多くの臨床研究を行っています。また、家庭を持った女性医師でも働きやすい環境作りを努めており、そのような女性医師の入局も歓迎です。

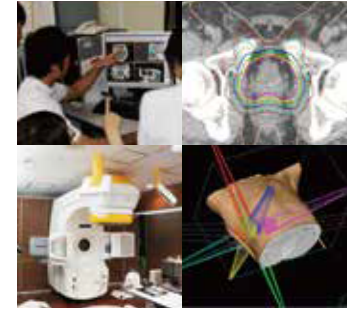


連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173(内線 9283) fax. 088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は、3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌と子宮癌に対する密封小線源治療システムを有し、1年間に800人以上の新規患者を受け入れている国内でも有数の放射線治療施設です。粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携し集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。



連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

救急集中治療部

(部長 西村 匡司)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・血液浄化などに関する幅広い知識・技術と、病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療部では、呼吸不全、循環不全、重症感染症や小児開胸術後など、様々な患者の診療を通してそれらの知識や技術、判断力を身につけることができます。全身管理・重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。他科志望の人の研修も歓迎します。



連絡先 大藤 純 joto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339
http://sv01.inter-bus.jp/~toku_icu/

リハビリテーション部

(部長 加藤 真介)

リハビリテーションは基盤診療科の中、充足率の最も低い診療科です。しかし、人口の高齢化の進行により必要性はますます高くなっています。専門医研修は、全国約100のプログラムで行われる予定ですが、徳島県では徳島大学病院を基幹施設とするプログラムのみになる予定です。リハビリテーションは、患者の生活に直結する医学で、臓器別診療にない魅力を持っており、ロボットを使ったリハの発展など、新たな世界が広がっています。私たちと一緒に新たな地平線を拓きましょう。



連絡先 加藤真介 skatoh@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

病理部

(部長 坂東 良美)

病理部は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています(徳島県では16名)。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしています。



連絡先 坂東 良美 yoshimi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory_center.html?rank_code=dept&belong_code=12

情熱、実践。
研修するなら徳島大学病院へ！
http://www.tokudai-sotsugo.jp